

	コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	809	総合型地域スポーツクラブ支援事業	会計	01	一般会計
			款	10	教育費
			項	06	保健体育費
			目	01	保健体育総務費
			細目	52	生涯スポーツ推進事業
基本 施策	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	細々目	52	総合型地域スポーツクラブ支援事業
行革大綱の重点事項番号		7			
担当部課	コード	450800	担当者 氏 名	福谷日出夫	連絡先 22 - 9680 (内線) 3836
	名 称	スポーツ振興課			

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	地域において、地域スポーツクラブを創設しようとしている地域並びに創設後活動する地域の住民組織			※対象件数
成果(どうする)	自らスポーツを実践する意識の高揚と、異年齢の交流を図ることで地域づくりができる。			
根拠法令・要綱等				
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度		
H21 事業内 容	◎総合型地域スポーツクラブ創設支援事業(委託) 大山田スポーツクラブ ◎総合型地域スポーツクラブ活動支援事業(補助) ・かんべスポーツクラブ(19・20・21)、猪田らくらクラブ(20・21・22)、いがまちスポーツクラブ(20・21・22)、中瀬スポーツクラブ(20・21・22) ◎伊賀市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会による研修会等の開催			
社会情勢 の変化等	予算が削減傾向のため行政主導のスポーツ事業から地域主導のスポーツ事業へ移行。			

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			目標 3 実績 3	目標 2 実績 1	1	1
事業推進説明会の開催	地区					
	地区					
創設支援事業	地区		目標 3 実績 1	目標 3 実績 1	2	1
	地区					

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標 7 実績 7	目標 9 実績 9	11	12
創設・活動地区数	組織数	事業内容を十分説明し、住民主導での創設・活動を図る。					
	組織数						
	組織数						
	組織数						

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
	直接事業費計 (A)		1,800	1,380	1,380		810	
	A の 財源 内訳	国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他	0	0	0		0	
	一般財源		1,800	1,380	1,380		810	
	事業投入人件費 (B)		0.7 人 5,040	0.7 人 5,040	0.7 人 5,040	0.7 人 5,040		
	フルコスト(A)+(B)		6,840	6,420	6,420		5,850	

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
達成度	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
効率性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
達成度	【予算の繰越がある場合、繰越の額別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
効率性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
効率性	受益者負担を求めることができる事業である。	○
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
効率性	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	各スポーツクラブで組織される伊賀市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会で、各クラブがより活発な活動が取り組みができるよう他地域の先進クラブの実践研修会や、企画立案手法の研修会を開催する。
昨年度 の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 伊賀市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を開催し、意見交換会等を実施した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	松本和久
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 財政支援は難しくなっていくが、組織化に向けての支援を行っていく。
現時点における課題、その他	市の補助が終了したスポーツクラブは、活動が極端に低下しているものがある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	25年度までに、自治協議会の支援及びクラブの活動に対する参加料等、財源の確保を図っていくよう指導する。